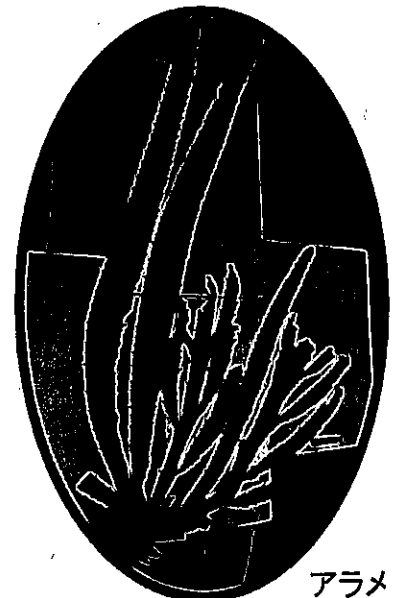


指標海産生物の採取計画の 改正について

1 経緯

- 震災後、アラメ資源の枯渇が懸念される状況
- 平成29年度第2四半期からアラメの採取回数を年4回から年2回に変更
- 平成29年度から代替え試料の検討を開始
エゾノネジモクを選定し、採取地点及び濃縮係数等を検討

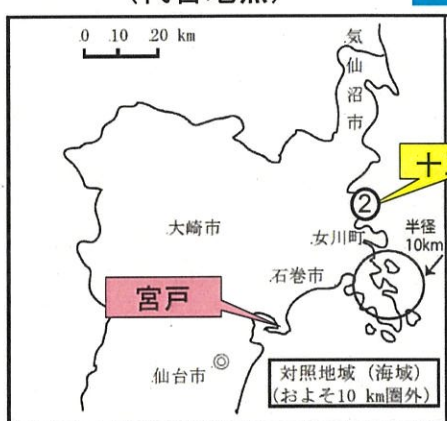


アラメ

2 採取地点等の検討

調査地点図

- アラメ従来地点
エゾノネジモク採取可
- アラメ従来地点
エゾノネジモク採取不可
- エゾノネジモク採取可
(代替地点)



2

3 放射能濃度測定結果の比較

採取時期: 平成29年7月～平成30年7月

採取地点: 6地点

単位: Bq/kg生

	エゾノネジモク	アラメ
試料数	19件	11件
I-131	ND～LTD(注)	ND～LTD
Cs-137	ND～0.56	ND～0.17
Cs-134	ND～0.081	ND

(注)LTD: 検出下限値未満であるが、スペクトルに光電ピークが存在。

・その他の対象核種

すべての試料において検出されず

3

4 濃縮係数の比較

$$\text{濃縮係数} = \frac{\text{海藻中の含有濃度(Bq/kg生)}}{\text{海水の含有濃度(Bq/L)}}$$

試料名 元素	アラメ	エゾノネジモク	(参考) ヒジキ
試料数	3地点×1件	3地点×1件	(文献値)
採取時期	平成30年11月	平成30年12月	
I (安定)	6200~7200 (L/kg)	1400~1600 (L/kg)	595~1149*1
Cs-137	約30*2	63(概算)*4	—
K-40	約30*3	24*4	—

- *1 (独)放射線医学総合研究所: 放射性核種生物圏移行評価高度化調査(2012.3).
 *2 女川原子力発電所環境放射能調査結果の放水ロデータより算出(2014-2017).
 *3 女川原子力発電所環境放射能調査結果の放水ロデータより算出(2012-2017).
 *4 平成29年度環境放射能監視検討会: 資料3.

4

5 改正案

改正後(新)					改正前(旧)				
試料名	担当	地点数	頻度 回/年	採取時期	試料名	担当	地点数	頻度 回/年	採取時期
アラメ	県	3	2	8, 11月	アラメ	県	3	4	5, 8, 11, 2月
	電力	3	2	8, 11月		電力	3	4	5, 8, 11, 2月
エゾノネジモク	県	3	2	5, 2月	\				
	電力	3	2	5, 2月					

5

